

公表:令和7年3月26日

事業所名 みつばすみれ学園

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○		
	②	職員の配置数は適切であるか	○		法令で必要とされる配置数を確保しています。職員の調整・編成方法の工夫をしていきます。
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	○		
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○		
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○		
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○		
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○		評価表を用いて保護者と事業所内の評価を行い、ホームページと事業所内の掲示板に公表しています。
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	○		第三者による外部評価は現在行っておりませんが、今後必要に応じて実施を検討していきます。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○		
適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○		
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○		日頃の行動観察や療育での様子、園との連携で聞き取りをしたお子様の様子なども参考にしています。
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○		保護者のニーズや療育での様子を踏まえて、各項目ごとに具体的な支援計画を立てています。
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○		児童発達支援計画に基づいてプログラムを組んで支援を行っています。

⑭	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○		基本はクラスリーダーが組んでいますが、毎日職員間で話し合い、その日の内容を決めています。
⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○		繰り返し行うことで変化がみられることもありますが、過去の記録を元に教材を変えたり、プログラムの順番を変えています。研修や専門誌から得た情報を基に活動プログラムを考案する等の取り組みも行っています。
⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	○		対象児の能力や状況を鑑み、集団活動の中での個別的な視点を持って取り組んでいます。
⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		開始前に担当する職員が今日の流れの確認と想定される子どもの行動について情報共有をして、対応方法の確認を行いスムーズに療育が進むよう心がけています。
⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○		勤務体制上、その日のうちに行うことが難しいことがあるため、翌日の支援開始前の打ち合わせやクラス会議で振り返りを行っています。
⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		日々の活動の記録をとり、プログラムの見直しや改善に繋がっています。
⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○		半年毎の個別支援計画の更新時等、必要に応じ適宜モニタリングを実施し、保護者の悩みやニーズの発見に努めています。
㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		関係機関との会議に参加する場合は、担当の職員や児童発達支援管理責任者が参画しています。
㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○		
㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障がい福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	○		
㉔	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	○		
㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		必要に応じて、移行児童の情報共有をしています。また、朝霞市育成保育担当職員の研修の受け入れ等を実施し、相互理解を図っております。
㉖	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		特別支援学校と就学児の情報共有をしています。また、和光特別支援学校の研修の受け入れ等を実施し、相互理解を図っております。
㉗	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		
㉘	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	○		

関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携

	②9	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども子育て会議等へ積極的に参加しているか	○		
	③0	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		
	③1	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	○		保護者を対象とした勉強会を開催したり、保護者の会の支援をしています。
保護者への説明責任等	③2	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		
	③3	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○		
	③4	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		
	③5	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○		
	③6	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		
	③7	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		園便り・Instagram・ホームページ等を活用し、情報発信しています。
	③8	個人情報の取扱いに十分注意しているか	○		
	③9	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		
	④0	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○		園庭開放を実施し、利用希望者には積極的に見学に対応を行っています。
	非常時等の対応	④1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○	
④2		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		
④3		事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	○		利用開始時に服薬状況やてんかん発作の有無を確認しています。服薬に変更があった場合はその情報を職員間で共有し様子を観察するようにしています。

④④	食物アレルギーのある子どもについて、指示書に基づく対応がされているか 医師の指示に基づく対応がされているか	○		ご家族に利用開始時と状況変化時アレルギーについて調査票に記入をお願いしています。
④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		日々の反省会でヒヤリハット報告を実施しています。ヒヤリハット集計を職員会議で共有し、検討しています。
④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		虐待防止委員会を設置し、身体拘束の適正化についての研修や職員のメンタルヘルスチェックなどを行い虐待を防止するための取り組みを行っています。
④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	○		

◎ この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。